

学校だより

さわね

平成29年4月21日



「よく考える」ことを大切に

校長 坂井一美

おかの桜が咲き乱れ、青く澄んだ真野湾をバックに1枚の絵画を思わせる風景がグラウンドを飾っています。この景色を作り上げた先人の想いに感謝しながら平成29年度がスタートしました。新入生9名を含め、全校児童42名、職員数12名、沢根小学校締めくくりの年を迎えました。桜の木も花吹雪を経なければ次の成長を導く葉桜とはなりません。1日1日を大切に、校内を子どもたちの笑顔で満開にして思い出多き1年にして閉校を迎えたいと考えています。

今年度も教育目標は「新しい自分を探し続ける子ども」です。その達成を目指すための合言葉は「沢根魂」と「沢根の絆」です。この言葉はすっかり子どもたちに定着しています。ただし、この言葉のイメージする姿を思い描けるかどうかには個人差があります。どちらにも共通する必須事項として「よく考える」ことが重要です。

入学式で1年生一人一人の呼名を含め、長文を暗記して話しかけた6年生の中川莉音さんはどの様にして長い文章を覚えたのでしょうか？後日、本人に聞いてみると、覚えやすいように場面ごとに分けて何回も何回も練習したそうです。覚えるための手立てを工夫し、何回も練習することですばらしい歓迎の言葉となりました。

昨年、1日も休まず登校し続けた3年生の近藤命輝さんは、どんな生活を心掛けていたのでしょうか？「新しい自分になるために、病院へ行く日でも朝だけでも学校に行くようにしました。」と話してくれました。少しでも学校に居ることができる時間を見つけて登校を続けることで1年間の皆勤賞を成し遂げています。

二人とも目標を達成するために何をすべきかを考えて継続して取り組みました。正に、この二人の姿こそ「沢根魂」と言えるのではないのでしょうか。

昼休みの体育館に出てみると、1年生と仲良く遊ぶ上学年の姿が見られます。1年生が楽しめるように手加減して走ることを考えて遊んでいます。「沢根の絆」を広げようとする上学年の姿にはやはり「よく考えた」行動がありました。

グラウンドの小高いおかの周りに桜を植える計画はだれが考えたのでしょうか？きっと植えた頃の苗木はまだ小さく、今日ある姿ではなかったことでしょう。将来を思い描いて育てたにちがいありません。長い年月受け継がれて今日の景色があります。よく考えられたものです。結果を思い描いてその実現に向けて考える。この思考過程は「沢根魂」と「沢根の絆」に通じるものがあります。今年1年、職員一同「よく考える」ことを大切にして子どもたちの成長を支援していきます。保護者の皆様、地域の皆様、子どもたちに「よく考える」姿が見られたらほめてあげてください。